中国の9月ビール生産量、7.8%減 業界の低迷深まる

生産量は2,788万ヘクトリットルにとどまり、2026年1〜9月の6%減が続いた。工場の稼働低下を示す動きとなった

2026年11月12日（木）



中国のビール生産量は9月にさらに減少し、2026年の最初の9カ月にわたる全般的な落ち込みが続いた。世界有数のビール市場で、工場の稼働が弱まっていることを示している。

11月12日（木）にZhiyan Consultingが公表したデータによると、中国国家統計局の統計として、1〜9月のビール生産量は合計2億8,947万ヘクトリットルとなり、前年同期比で6%減少した。この数値は販売量や消費量ではなく実生産量を対象とし、中国の公式生産統計に含まれる工業企業に適用される。

9月単月のビール生産量は2,788万ヘクトリットルだった。Zhiyan Consultingによると、前年同月比7.8%減で、8月に報告された6.5%減より落ち込みが大きかった。前年同月比の減少率は、前月から1.3ポイント拡大したことになる。

China Brewing Industry Information Networkが10月21日に公表した業界別の表によると、生産量

は8月の3,342万ヘクトリットルから9月には2,788万ヘクトリットルに減少した。季節調整前の前月比では554万ヘクトリットル、16.58%の減少となる。

この数値は、中国のビール業界への圧力が第3四半期末まで続いたことを示唆している。ビール生産は、包装、ガラス、アルミニウム、物流、農産物のサプライチェーンなど、麦芽用大麦をはじめとする醸造原料を含む幅広い分野の動向と密接に結び付いている。生産量の持続的な減少は、小売需要を直接測るものではないものの、これらの分野の工場稼働率や調達に影響を及ぼす可能性がある。

11月12日の公表は、新たな公式統計の発表ではなかった。確認した資料によると、Zhiyan Consultingの報告は、10月にすでに流通していた生産量の数値を再掲したものだった。統計局自身による新たな発表ではなく、公式統計に基づく二次的な公表として示されている。

同じ資料には、重要な方法論上の注意も記されていた。公表された前年同期比の増減率は、業界別の表にある過去の生産量を単純に割って算出した値と完全には一致しない。このため、データを使って前年同期比の絶対的な生産量減少を正確に算出したり、すべての系列で比較対象となる基準が同一だと仮定したりすべきではない。

こうした留意点はあるものの、データが示す大きな流れは明らかだ。中国のビール生産量は、9月単月でも1〜9月の累計でも前年を下回り、9月の前年同月比減少率は8月より大きかった。この傾向は、醸造業や関連する製造業のサプライチェーンに関わる産業活動の軟化を示す動きに加わるものだ。